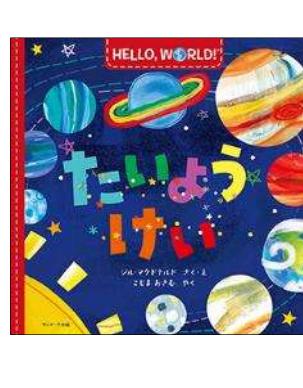
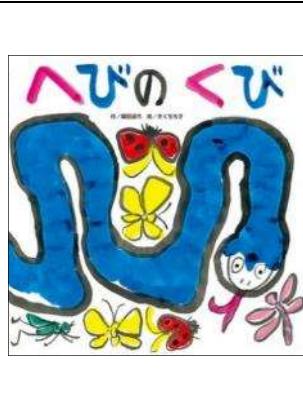
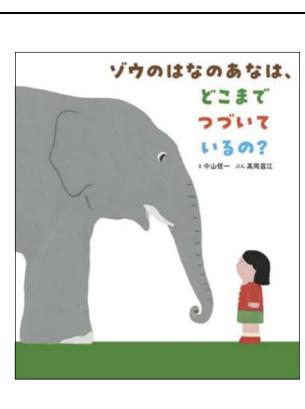
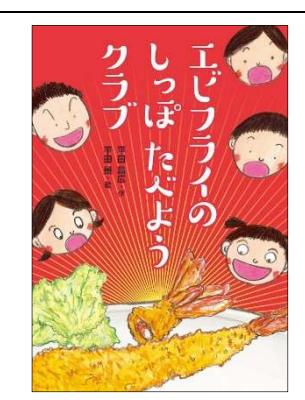


	<h3>さかなかにや？</h3> <p>さとう めぐみ／作・絵 なないろえほん PHP研究所</p> <p>おるすばん中、たいくつしているねこちゃん。「あれ さかなかにや？」「あれ ボールかにや？」ねこちゃんといっしょにさかなやボールをさがしてみよう。さいごに見つけたのは…？ 親子で楽しむ絵さがし絵本。</p>
	<h3>たいようけい</h3> <p>ジル・マクドナルド／著 こじま おさむ 児島 修／訳 HELLO, WORLD ! サンマーク出版</p> <p>夜空を見上げると、月が見えます。太陽があり、その周りを水星、金星、わたしたちの住む地球も回っています。太陽系の惑星の特徴をカラフルなイラストとやさしい解説で紹介。はじめての科学絵本におすすめ。</p>
	<h3>へびのくび</h3> <p>おりた みちよ 織田 道代／作 きくち ちき／絵 フレーベル館</p> <p>なかよしのへびくんととかけちゃん。とかけちゃんが、くものすとはなびらとはっぱで、すてきなスカーフを作りました。へびくんのくびにまいてと言われますが、へびくんのくびってどこでしょう？</p>
	<h3>うかぶかな？しずむかな？</h3> <p>かわむら やすふみ 川村 康文／文 えんどう ひろし 遠藤 宏／写真 かがくすつ 岩崎書店</p> <p>水そうにお水がいっぱい。いろいろなおもちゃを入れてみたらどうなるかな？ボールはうかんだ。ミニカーはしづんだ。ねんどはどうだろう。形を変えるとどうだろう。どんどん実験してみよう。</p>
	<h3>5ひきのくまさん</h3> <p>キャサリン・レイナー／作 みずの ゆきこ／訳 化学同人</p> <p>くろくまさんがおさんぽしていると、もじゃもじゃくまさんに会いました。歩いていると、パンダさん、大きなくまさん、木からおりられなくなっているしろくまさんに出会って…。みんなとなかよくなるヒントがつまつた絵本。</p>

	<p><b>どっち?</b></p> <p>キボリノコンノ／作 講談社</p> <p>カステラ2つ。どちらかは本物で、どちらかは木でできています。どっちが木彫りか分かるかな？ マカロン、たいやき、しめじ…。木彫リアーティスト・キボリノコンノの作品と食べ物をならべたクイズ絵本。</p>
	<p><b>わたしたちのケーキのわけかた</b></p> <p>キム・ヒョウン／作 偕成社 おおたけ きよみ／訳</p> <p>わたしたちは5人きょうだい。目の前にはイチゴが6つのったホールケーキ。さあ、どう分ける？ 牛乳、おかし、扇風機の風、しんせきのおじさん…。分ける時に大切なのは、わり算だけではないんです。</p>
	<p><b>ゾウのはなのあなたはどこまでつづいているの？</b></p> <p>なかやま しんいち 中山 信一／絵 あすなろ書房 たかおか まさえ 高岡 昌江／文</p> <p>人間のはなのあなたは、しきりで右と左に分かれていって、のどの手前でしきりがなくなります。ゾウのはなは、どうなっているのでしょうか？ ゾウのはなの仕組みやはたらきをイラストで解説。</p>
	<p><b>ゆびのすうじ ヘーんしん</b></p> <p>さいとう はるみち 齋藤 陽道／作 アリス館 あわい／絵</p> <p>指で数字をつくるよ。手話で1と1をつくるて頭にのせると「おに」。2と2を表す指を合わせて「にんじゃ」。数字の手話の組み合わせで、どんなものが表現できるかな。いつしょにやってみよう。</p>
	<p><b>エビフライのしっぽたべようクラブ</b></p> <p>ひらた まさひろ 平田 昌広／作 わくわくえどうわ ひらた けい 平田 景／絵 文研出版</p> <p>小学生2年生のともちゃんは、エビフライのしっぽが大好き。ところがクラスの子からしっぽまで食べるのをおかしいと言われてしまします。そこでともちゃんは「エビフライのしっぽたべようクラブ」を作ることにしました。</p>

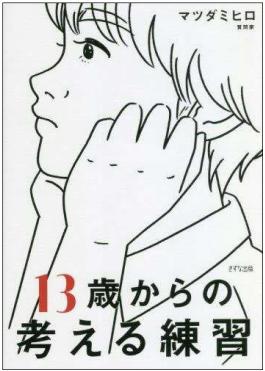
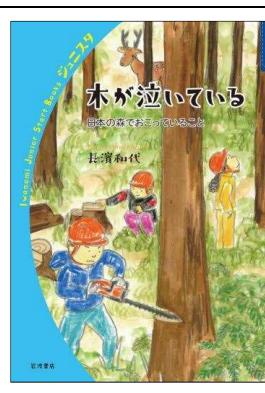
としょかん  
図書館からのおすすめの本 『小学校 中学年』

	<p><b>こんちゅう</b> <b>昆虫レストラン ななほしへようこそ</b></p> <p>あいざわ うえ 藍沢 羽衣／作 ゆうこ／絵</p> <p>アゲハは、昆虫と動画が大好き。昆虫を使った料理・昆虫食を知り、昆虫食レストラン「ななほし」の天道さんに出会います。アゲハは昆虫食のことを伝える動画を作り、配信しようと思いつきますが…。</p>
	<p><b>ぞだ</b> <b>すごいグラウンドの育て方 阪神甲子園球場のひみつ</b></p> <p>かなざわ けんじ 金沢 健児／著</p> <p>阪神甲子園球場は「日本一水はけのよいグラウンド」といわれています。グラウンドをいい状態に保つためのひみつと、外野の芝と内野の土の整備をする「グラウンドキーパー」の仕事を紹介します。</p>
	<p><b>せかい</b> <b>おまつりとごちそうで世界いっしゅう</b></p> <p>アリス・B・マッギンティ／作 スズキ トモコ／絵 星野 由美／訳</p> <p>中国の新年のお祝い「春節」。夏にクリスマスをお祝いするオーストラリア。みのりの秋のお祝い…。世界の国では、お祝いのときにどんなものを食べて、どんなことをしているのかな。</p>
	<p><b>どうぶつみずそはどう</b></p> <p>かじり みな子／作</p> <p>カエルやイタチたちが、大きな用水の水をめぐってケンカをしていました。用水の水をたくさんある村に公平に配けるにはどうしたらいいだろう？ 農業用水を平等にわける「円筒分水」をテーマにした、生きものたちのお話です。</p>
	<p><b>おいしく！きれいに！魚の食べかたずかん 1</b></p> <p>サンマのしおやき・アジのひものほか</p> <p>おぐら ともこ 小倉 朋子／監修</p> <p>食事の時には、みんなが気持ちよく食べられるようにルールがあります。では、魚の食べ方は知っているかな。サンマのしおやきを、きれいにおいしく食べるには？ 食べ方だけでなく、旬やどんな魚か、選ぶポイントなども紹介。</p>

図書館からのおすすめの本 《小学校 高学年》

	<p><b>お金たちの愛と冒険</b></p> <p>こでまり 小手鞠 るい／作 ゆうこ／画</p> <p>文研じゅべにーる 文研出版</p> <p>お金ってなんだろう？ 増えるものなのかな。買えないものってあるのかな。 使い方や増やし方など、お金と賢く付き合う方法を、楽しいものがたりで解説します。巻末付録を見ると、お金の歴史や用語が分かります。</p>
	<p><b>ひとつ粒のチョコレートに</b></p> <p>さとう きよたか 佐藤 清隆／文 junaida／絵</p> <p>福音館書店</p> <p>チョコレートのおいしさのひみつは、原料のカカオの油。そのカカオの性質のため、人類がチョコレートを作るために1万年かったのです。チョコレートを作り出すまでの技術と歴史をイラストで解説。</p>
	<p><b>ニワトリ</b></p> <p>バルバラ・サンドリ／文 フランチェスコ・ジュッビリーニ／文 カミツラ・ピントナート／絵 蒲池 由佳／訳 松田 洋一／監修</p> <p>ちかくにあるいのち図鑑 化学同人</p> <p>大昔から、人間と関わりのあるニワトリ。ニワトリのこと、どれだけ知っているかな？ 体のしくみや人とのかかわり、歴史、卵、種類など、基本的なことから、鳴き方、羽根のもようといった詳しいことまで、1冊でニワトリ博士になれる本。</p>
	<p><b>世界のスゴイ絵画 意味がわかるとおもしろい！</b></p> <p>さとう あきこ 佐藤 啓子／著</p> <p>Gakken</p> <p>「モナ・リザ」「富嶽三十六景」など、日本と西洋の名画50点を紹介。絵に隠された謎、その絵が描かれた背景、画家のエピソード、絵を見るときのポイントなど、絵画を鑑賞するときに知っておきたい知識が満載。</p>
	<p><b>チーム 紫式部！</b></p> <p>楠木 誠一郎／作 酒井 以／絵</p> <p>静山社</p> <p>世界最古の恋愛小説とよばれる『源氏物語』はどうやって書かれたのでしょうか。作者である紫式部の視点から、現代風の語り口で平安時代の様子が描かれます。『源氏物語』のあらすじも掲載。</p>

図書館からのおすすめの本 «10代前半»

	<p><b>さい 13歳からの考える練習</b></p> <p>マツダ ミヒロ／著</p>
<p>「友だちをつくるにはどうしたらいい?」「自分のことをどうやったら好きになれるの?」いろいろな「悩み」に対して「答え」ではなく「質問」で答えます。自分で考えて解決するための力を引き出す本。</p>	
	<p><b>こつき 世界の国旗「つながり」図鑑 ぜ～んぶおぼえちゃおう</b></p> <p>ふきうら ただまさ 吹浦 忠正／著</p> <p>かわせ 川瀬 ホシナ／絵</p> <p>アジアに太陽を描いた国旗が多いのはなぜ? 国旗が似ている国は、国同士のつながりがある? 国旗を見れば、その国の歴史が見えてくる。国旗博士が世界200カ国 の国旗をイラストで解説します。</p>
	<p><b>つか 10代のための疲れた体がラクになる本</b></p> <p>「朝起きられない」「集中できない」「やる気が出ない」自分を救う方法</p> <p>ながぬま むつお 長沼 瞳雄／著</p> <p>「体調不良の原因が分からぬ」「学校が疲れる」いくら休んでも治らない症状に悩んでいませんか? 「慢性疲労」が原因かもしれません。疲れのメカニズム、脳の仕組み、疲労からの快復方法などをやさしく解説。</p>
	<p><b>木が泣いている 日本の森でおこっていること</b></p> <p>ながはま かずよ 長濱 和代／著</p> <p>岩波ジュニアスタートブックス 岩波書店</p> <p>世界有数の森林国、日本。かつては豊かに利用されてきた日本の森林ですが、近年、森と人のバランスが崩れつつあります。森の役割や、私たちが受ける恵みを知り、これから木と人との未来について考えてみましょう。</p>
	<p><b>ささ 小説 たった今考えたプロポーズの言葉を君に捧ぐよ。</b></p> <p>daipo／原作　さらい 俊介／著　せきね 関根パン／著 ふじさき しゅり 藤崎 珠里／著　moffmachi／イラスト</p> <p>KADOKAWA</p> <p>制限時間内に手持ちのカードを並び替えてプロポーズの言葉を作るボードゲームをノベライズ。どのような状況になったら、その言葉で愛を告げることになるのか…。45編の個性的な求婚シチュエーションをまとめたショートショート。</p>

## 図書館からのおすすめの本 «10代後半»

	<p><b>10代の悩みに効くマンガ、あります！</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="419 249 954 361">トミヤマ ユキコ／著</td><td data-bbox="954 249 1491 361">岩波ジュニア新書 岩波書店</td></tr> </table> <p>楽しいことも多いけれど、友だちや親との関係に悩んだり、進路や将来について考えたり…。10代はけっこう大変！ マンガを通じて、モヤモヤや悩みに寄り添います。心が軽くなる1冊です。</p>	トミヤマ ユキコ／著	岩波ジュニア新書 岩波書店
トミヤマ ユキコ／著	岩波ジュニア新書 岩波書店		
	<p><b>どんどん勉強が楽しくなるノート術</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="419 646 954 759">いますぐ使えて一生役立つアイデア77</td><td data-bbox="954 646 1491 759"></td></tr> </table> <p>ノートは作り方を工夫すると、勉強が楽しく、効率的になります。さらに、入試や資格試験、社会人になってからの資料作りにも役立ちます。カラフルなイラストと写真でノート術を紹介。</p>	いますぐ使えて一生役立つアイデア77	
いますぐ使えて一生役立つアイデア77			
	<p><b>スマホアプリはなぜ無料？ 10代からのマーケティング入門</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="419 1066 954 1179">松本 健太郎／著</td><td data-bbox="954 1066 1491 1179">14歳の世渡り術 河出書房新社</td></tr> </table> <p>有料が当たり前の世の中だけど、なぜ無料のサービスが存在し、提供する企業には売り上げがあるの？ 将来、損をしたり、だまされたりしないよう、「経済」と「マーケティング」から「世の中のしくみ」を知っておきましょう。</p>	松本 健太郎／著	14歳の世渡り術 河出書房新社
松本 健太郎／著	14歳の世渡り術 河出書房新社		
	<p><b>空を、読む。</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="419 1464 954 1554">佐々木 まなび／著</td><td data-bbox="954 1464 1491 1554">芸術新聞社</td></tr> </table> <p>「羽二重雲」「風の調べ」「朧月夜」…。日本には、空や雲、風を表す美しい言葉があります。時には、先人たちが生み出した言葉とともに、空を見上げてみませんか。写真やイラストとともに、言葉に触れる本。</p>	佐々木 まなび／著	芸術新聞社
佐々木 まなび／著	芸術新聞社		
	<p><b>17歳のビオトープ</b></p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="419 1852 954 1942">清水 晴木／著</td><td data-bbox="954 1852 1491 1942">幻冬舎</td></tr> </table> <p>飄々として、謎めいた雰囲気の校務員・平人生。悩みを抱えた高校生が「人生先生」のところに相談に訪れます。彼らはビオトープ作りに参加するようになり…。自分の「居場所」や生き方について悩んでいる人に寄り添う青春小説。</p>	清水 晴木／著	幻冬舎
清水 晴木／著	幻冬舎		

図書館からのおすすめの本 『一般』

	<p><b>うつ 鬱の本</b></p> <p>やら あさや／編集 小室 ゆうや／編集 いまざき あやか／編集</p> <p>病気の「うつ」、日常の憂鬱、思春期の鬱屈など、84人が様々な「鬱」を取り上げます。蒲郡出身の漫画家・大橋 裕之さんのエッセイも収録。本が読めない時にも、心のお守りになりますように。</p>
	<p><b>少人数で生き抜く地域をつくる 次世代に住み継がれるしくみ</b></p> <p>佐久間 康富／編著 柴田 祐／編著 うちひら 内平 隆之／編著 青木 佳子／著 他</p> <p>日本全国で人口減少が問題になっています。現状を受け入れて、空き家活用、伝統・教育・福祉、ネットワークの仕組みなど、少人数でも暮らしを持続する各地の試みを紹介。未来の地域作りを考える本。</p>
	<p><b>おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った</b> 世界ことわざ紀行</p> <p>かない まき／著</p> <p>「風を食べる」はマレー語で「旅をする」の意味。「おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った」はフィンランドのことわざです。どんな意味でしょう。36言語のことわざと文字を集めたイラストエッセイ集。</p>
	<p><b>うたわない女はいない</b></p> <p>働く三十六歌仙／著</p> <p>「食っていけるの？そう笑ってた人たちをシャネルのバッグでいつか撲ちたい」36人の女性歌人による「労働」をテーマにした短歌と、「おしごと小町短歌大賞」受賞作を掲載。仕事の現場の「今」を三十一文字に始めた短歌集。</p>
	<p><b>墨のゆらめき</b></p> <p>三浦 しをん／著</p> <p>老舗ホテルで働く続 力は、筆耕係である書家の遠田 薫を訪れる。続は代筆を手伝うことになったが…。手書き文字を書くことが減った今だからこそ、「墨」を使って書く「文字」の魅力に触れてみませんか。</p>